



練馬区議会議員
かっこ
やない 克子
保健福祉委員会
医療・高齢者等特別委員会



練馬区議会議員
やまさき
山崎 まりも
文教児童青少年委員会
みどり・環境等特別委員会



生活者ネットワーク

区議会ニュース

2024年 第二回定例会(6月3日~21日) 報告号

環境・福祉政策を前へ

練馬区議会では、第二回定例会の初日から3日間で、翌年の5月末までの1年間に所属する委員会(常任、特別など)を決定します。委員会には定員があって、議会全体の調整の中で必ずしも希望の委員会に所属できるわけではありません。やない克子と山崎まりもの今年度の委員会を紹介します。



保健福祉委員会
医療・高齢者等特別委員会

福祉部及び健康部を所管する保健福祉委員会は昨年引き続き2年目。今回は、昨年入れなかった、介護保険制度をはじめとする高齢者施策、地域医療や病床確保などを調査研究する「医療特」に所属できました。

多様化する福祉ニーズに応える福祉施策の充実のために尽力していきます。高齢・障害、生活困窮、健康・保健など、日頃の暮らしの中で感じる疑問やお困りごとなどをお聞かせください。



文教児童青少年委員会
みどり・環境等特別委員会

文教児童青少年委員会は主に保育園・幼稚園・小中学校までの子育て・教育関連、15歳以上18歳までの若者支援などを扱う委員会です。子どもや保護者の視点で区政をチェックしていきます。気になることや疑問があったら、お寄せください。

みどり・環境等特別委員会は前年度より引き続き、プラスチックごみや再生可能エネルギー、緑地など「環境問題は人権の問題」という意識を持ち、生活者の視点で取り組みます。

小中学校のトイレに生理用品配置へ一歩前進!

生理用品配置について各学校と協議していくことが今定例会で示されました。子どもたちから「うれしい!」との声。陳情も出ており、生活者ネットワークとしても提案してきたことです。早期実現を期待します。生理用品は、生理現象に対応するトイレットペーパーと同じように考えてよいと思います。

区モデル』のような、住民の福祉向上のための自治体の創意工夫をも阻害しかねないのではないか。非常時には地域の実情に合わせた判断ができる自治体の裁量こそ必要と考えます。

超党派の議員、市民による参議院会館前の「STOP! 地方自治法『改正案』緊急アクション」に生活者ネットワークの岩永都議と共に参加。2024年6月6日



地方自治、分権に逆行する
地方自治法改正に反対!!

もっと詳しく知りたい方は↓



生活者ネットワークは、自治・分権型社会の実現をめざし活動する地域政党です。

非常時に自治体に対する国の指示権を拡大する改正地方自治法が、今国会で可決、成立しました。2000年の地方分権一括法施行で、国と自治体の関係は「上下・主従」から「対等・協力」に変わりましたが、今回の法改正は「地方分権に逆行する」と法律家や研究者、自治体の首長をはじめ多くの市民が指摘しています。

国会審議では「具体的にどのような事態の際に指示権を行使するのか」、担当大臣からの明確な答弁はなく、政権が「重大な事態」と判断すれば、強制力を持つ指示権を恣意(しい)的に行使できるようになるのではないかと懸念します。

前川区長が標榜する「新型コロナワクチン接種『練馬



区立認知症デイの廃止は拙速に進めるべきではない

認知症高齢者の急増かつ重度化。
単身の認知症高齢者の増加は必至なのに・・・



議案第45号「練馬区立デイサービス条例の一部を改正する条例」は、区立高野台デイサービスセンターで実施している認知症対応型通所介護事業、いわゆる認知症デイサービスを今年度末で廃止するものです。区は廃止する理由を「民間のデイサービスで認知症高齢者の受け入れ体制の整備が進んだ」、「認知症対応型グループホームや『※小規模多機能型居宅介護』などの認知症の支援に適したサービスが整ってきた」と説明しました。また、区立含めて11か所の認知症デイの利用率は5～6割で、利用率が低いのは「利用料と（認知症という）名称」も影響しているとも。

認知症デイは、認知症の専門知識のある看護・介護職員の配置基準が手厚く、必然的に利用料も一般デイサービスと比べて高く設定されています。もし、利用負担や「認知症」という名称を理由に一般デイを選んでいるとしたら、適切な支援につながっていないのではないかと懸念します。

区は、現場を残しながら制度の課題に対応し、負担軽減や認知症の理解啓発なども含めた認知症施策の充実にも率優先して取り組むべきであり、この議案に反対しました。



※同一事業者がデイサービス・ホームヘルプ・ショートステイを一体的に提供する



ねりっこクラブには賛成でも「ねりっこプラス」には疑問

今、必要な施策ではあるが、「働き方」についても話せる場を



区立学童クラブは学校応援団ひろば事業と統合した「ねりっこクラブ」に順次移行され、その運営を民間事業者へ委託しています(65校中既に59校で実施)。来年4月から、あらたに3校でねりっこクラブが実施されるため、条例改正案が出されました。

生活者ネットワークはねりっこクラブには賛成ですが、手放して賛成! というわけではありません。

区は、ねりっこ学童クラブに入れたい待機児童対策で「ねりっこプラス」を実施。ねりっこひろばが17時で終了した後、最長19時まで学童クラブに準ずるものとして、ひろば室で実施しています。

この、つぎはぎの過ごし方が「子どもにとってどうなのか」を考え、私たちはねりっこプラスには反対しています。

一方で・・・こんなに朝早くから夜遅くまで働かないといけない社会ってどうなのか。議案に賛成しながらも、根本的な、「私たちはどんな生活がしたいのか。そのためにこの街はどうあってほしいか」。そんな話をする場がもっとたくさんあっていいのではないかと思います。



保護者からの質問

「ベルデ下田」が廃止と聞きました。小・中学校の移動教室は問題ないのでしょうか



2023年度の移動教室は「ベルデ下田」が利用できず、3か所(軽井沢・武石・岩井)で行われ、混み合っくじ引きで3月に行った学校もあったと聞きました。「ベルデ下田」廃止で、今後の小・中学校の移動教室が心配。民間の施設を利用する予定はあるの?



区の担当課に確認しました

- ・昨年度は武石の体育館の改修で混み合い、2月末から3月にかかる学校があったが、今年度は3月の実施はない(6年生は受験する子もいるので早めの時期に設定)。
- ・今後も移動教室は3か所のベルデで回す予定。民間施設の利用は全区学校分貸切利用できる施設がなく、費用面なども含め課題が多いとの回答でした。今後もベルデのあり方、移動教室の意義など議論していきます。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

●information●

【第三回定例会区議会】

2024年9月6日(金)～10月11日(金)

一般質問 山崎まりも(予定)

※本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

練馬区への予算要望書に関するご意見・ご要望などお寄せください。お待ちしております。

「資源やごみの回収」や「地域包括支援センターと介護保険」について皆さんの声をお聞かせください。



←資源やごみの回収についてのアンケート



←地域包括支援センターと介護保険についてのアンケート

